



発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jp.org/>

令和二年度総祈願

日序上人御廿三回忌報恩御奉公成就
本年度教化誓願達成
激励助行隨喜參詣歡喜御講獎勵之御願
一人ひとり御会式参詣将引御奉公推進

七月の御總講日
一日十時御修行日
七日十時バースデー總講

日序上人報恩祈念

十三日九時半高祖御命日
廿五日九時半於清流寺門祖御命日
十二日十時高祖御速夜歎尊御命日
廿日十時於羽村別院

特別行事

廿六日午前十時三十分開式
佛立開導日扇聖人御正當会
夏期参詣
十二日～廿五日
第一座六時～
第二座九時半～

7月26日
10時30分

佛立開導日扇聖人御正當会 奉修導師

当山住職長谷川日堯導師

恩を忘れてはなりません。
私は、この開導聖人のご

令和二年
夏期参詣

7月十二日～廿五日
開導会の晴天祈願を併修

同歸亭要語錄

(道場神守護事
153)

是則勇猛 是則精進

心は是れ、身の主也。同名
同生の天、是れ能く人を守護
す。心固ければ則ち強し。

身の神尚尔なり。況んや道
場の神をや。弘決第八に云く、
常に人を護ると雖も必ず心の
固きに依りて神の守り則ち

人間の行いは皆其の心の現
われものですから、心が正
しければ、其の行いも自ら正
しいということになるのであ
ります。

道場神といふのも華嚴經そ
の他のお経にも説かれていま
すが、これは仏を奉安し、人々

また、六月廿四日に羽村別
院にて日序上人御廿三回忌が
奉修されました。口ナ禍の影響で代表者のみの
参詣でしたので、今月の開導
会には、全信徒参詣の上、そ
れぞれお焼香をしていたゞく
ことになりました。

佛立開導日扇聖人＝開導聖
院にて日序上人御廿三回忌が
奉修されました。口ナ禍の影響で代表者のみの
参詣でしたので、今月の開導
会には、全信徒参詣の上、そ
れぞれお焼香をしていたゞく
ことになりました。

時三十分、七時三十分の二回、
第二座は、十時十五分より
それぞれご法門があります。
奮って参詣に励みましょう。
また、夏期供養もはじまり
ますので、早めに申し込んで
下さい。

回向、併せて、清流寺功德会
先亡会員諸精靈のご回向も奉
修されることになつております。
功德会のご回向とは、功
徳会の会員物故者靈薄により
毎年、この時期に奉修されて
おります。

清流寺創建七十周年 記念事業御有志奉納者 (その廿二)

第四、五六プロック(国分寺・小平)

二六九名 五〇九口

(教区順、敬称略、順不同)

七月二日(木) 立川教区

三日(金) 国立教区

四日(土) 京王教区

五日(日) 国分寺教区

六日(月) 小平教区

盂蘭盆会

七月十三日
功德会先亡会員回向

講に、令和二年、当山盂蘭盆

法華經宝塔品に

「是レ則チ勇猛也。是レ則

チ精進也」と説かれてあつて、

末法における法華經の修行は

必ず「心欲見仏、不自惜身命」

の一心不乱でなくしてはなりま

せん。

御教歌には

「一心にいのらば妙は顕れぬ

とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一

心であるから「精進」というこ

とにあります。末法における法華經の修行とは、勇猛精進の一語につきるわけ
で、凡夫考へ及ばざりけり
とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一

心であるから「精進」というこ

とにあります。末法における法華經の修行とは、勇猛精進の一語につきるわけ

で、凡夫考へ及ばざりけり

とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一

心であるから「精進」というこ

とにあります。末法における法華經の修行とは、勇猛精進の一語につきるわけ

で、凡夫考へ及ばざりけり

とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一

心であるから「精進」というこ

とにあります。末法における法華經の修行とは、勇猛精進の一語につきるわけ

で、凡夫考へ及ばざりけり

とお示し下されてあります。

一心であるから「勇猛」で、一

心であるから「精進」というこ